

2. 事業の目的と概要	
(1) 上位目標	<p>・プロジェクト完了時には、井戸を建設・改修したマグウェ地域 15ヶ村で、村内で1年を通じて安定的に利用できる生活用水の水量が増加する。</p>
(2) 事業の必要性(背景)	<p>(イ) ミャンマー連邦共和国(以下:「ミ国」)中央乾燥地域には、約1,800万人が生活している。亜熱帯半乾燥地帯に属するこの地域では、年間降水量が500-1,000mm(ミ国他地域の約10分の1程度)で、その多くは5-10月に集中している。大きな人口を抱えるこの地域では、乾季の水不足が深刻であり、少ない降雨を利用して行っている豆類、ナッツ類などの生産以外に経済活動は乏しく、ミ国の中でも経済的に最も貧しい地域のひとつである。</p> <p>この地域の住民は、主に雨水を溜めた村落内のため池から生活用水を汲んでいるため、乾季になりため池が枯れてしまうと村から数キロメートル離れた場所にある村の井戸から水を購入せざるを得なくなってしまう。また、ため池には不純物が混入するため沸騰させたりなどの処理を行わない限り、飲料に適さない。</p> <p>このような状況を改善するため1967年から2000年まで海外援助を受けてミ国水資源管理局(WRUD)により多数の深井戸が建設されたが、開始から40年余りを経て揚水ポンプやエンジンの故障、井戸の劣化や砂の巻き込みによる揚水量の減少など数々のトラブルに直面している。井戸が故障したまま、十分な水量を得られず深刻な水不足に直面している村も多い。各村で水の管理・運営を計画的に行う組織が存在していないことも、問題を長期化・慢性化させている。</p> <p>(ロ) 中央乾燥地域に属するマグウェ地域マグウェ郡には、約39万人が居住している。この地域では、村落部も含めて人口の増加が近年著しく、水不足の進行に拍車をかけている。</p> <p>WRUDによる深井戸建設はこの地域でも行われたが、既述の通り数々のトラブルに直面している。人口増加も進んでいるため、既に井戸が建設された村においても生活用水の不足が深刻化しており、追加の井戸建設および改修が急務となっている。</p> <p>当団体は中央乾燥地域において1999年から民間及び公的資金を得て生活用水供給事業を行っており、深井戸建設や井戸修繕さらには井戸の維持管理のためのトレーニング等を実施し、地域の生活用水の安定供給を図ってきた。この度、当団体では井戸建設・改修の要望が高まるなか、地域からの情報に基づいて調査を実施し、国境省開発局との協議をへて、特に必要性が高いと認められる村々で事業を実施することにした。</p>
(3) 事業内容	<p>(イ) 新規深井戸建設(5ヶ村) 中央乾燥地帯マグウェ地域マグウェ郡の5ヶ村(約1,570世帯、人口約6,500人)に、生活用水供給のための新規の深井戸各1本を建設する(各村からの井戸掘削要請書あり)。</p> <p>(ロ) 既存井戸の修繕(10ヶ村) 同地域で機能不全に陥っている10本の既存井戸を選び、揚水ポンプ</p>

	<p>交換など設備の修繕を行う(約 1,800 世帯、人口 9,600 人)。</p> <p>(ハ) 水質検査</p> <p>新規掘削または修繕した井戸は、使用開始前に水質検査を実施する。水質検査項目と基準値は、当団体と活動を実施するミャンマー政府カウンターパート先(国境省村落開発局)が飲料水として推奨する検査項目 10 項目(ph・総硬度・総溶解固形分・濁度・伝導性・フッ素・硝酸塩・鉄分・ヒ素・塩化物カルシウム)とその基準値を使用する。水質検査の結果については、村の代表や水管理委員会と話し合っ、て、村の事情や村人の意見を十分考慮した上で、水質に適した各井戸水の奨励される用途を決定する。推量される用途は、後述する衛生ワークショップや村内で周知することで、家族やコミュニティへ広く、分かりやすく伝達する。</p> <p>(二) 水管理委員会運営講習会</p> <p>プロジェクト実施予定の 15 ケ村を対象に各村から水管理委員会のメンバーをはじめとする 3 名を選抜してもらい、水管理委員会のマネジメントに関する講習会を開催する。井戸水の料金設定や料金徴収、井戸水販売方法、貯蓄金の使用方法など、井戸を長期維持管理するためのマネジメント方法を学ぶワークショップである。また、水質検査結果に応じた推奨用途についても周知する。</p> <p>(ホ) 井戸運営管理情報共有ワークショップ</p> <p>元々井戸を保持・活用しており、水管理委員会が活動している 5 カ村とプロジェクト実施対象 15 カ村から 3 名ずつの水管理委員会メンバーを招いて、それぞれの村での井戸管理運営の取り組み、経験と課題を共有し、よりよい運営方法を話し合うワークショップである。</p> <p>(ヘ) 揚水ポンプ技術講習</p> <p>プロジェクト対象 15 ケ村における井戸揚水ポンプに関する技術研修会を開催する。各村の揚水ポンプ操作者 2 名を対象に 3 日間開催し、日常の正しい運転方法および維持管理方法を学んでもらい、井戸のロングライフに貢献する。</p> <p>(ト) 水と衛生に関するワークショップ</p> <p>プロジェクト対象 15 ケ村で、水と衛生に関するワークショップを各村落で開催する。村の小学生全員を対象とし、水を衛生的に使用方法、また健康な生活を楽しく考えるワークショップである。また、水質検査結果に基づく各井戸水の推奨用途も周知する。修繕対象ケ村も含むため、現段階での裨益者数は不明だが、過去の経験に基づく、50 名×15 ケ村=750 名程度を対象としている。</p>
(4) 持続発展性	<p>水管理委員会や村落住民、揚水ポンプ操作者の相互協力を促し、計画的な給水システムの維持管理を行うことで、長期的に安定した生活用水供給へとつなげる。具体的な維持管理計画とその内容は以下の通り。</p> <p>本事業では、水管理委員会内部に管理部門、財務部門など責任体制の確立を促し、委員会が水の管理を最低コストかつ適正な価格で行うことで、将来の大きな故障修理に備える。また、委員会は収支</p>

	<p>を定期的に村落住民に報告することで、絶えず透明性を維持し、住民の積極的な参加を促す。その他、当団体によるトレーニングにより、ポンプ操作者は機械操作を正しく実施し、井戸操作記録も適切に付けられるようになる他、日常的・定期的なポンプやエンジンの整備・保守を実施する。</p> <p>当団体は上記事項が適切に実施されるよう、井戸完成後 1 年間モニタリングを行う。</p>
<p>(5) 期待される成果と成果を測る指標</p>	<p>当事業における、目標を達成するために期待される成果と指標は以下の通り。</p> <p>【目標】 本プロジェクト対象地において、村内で 1 年を通じて安定的に利用できる生活用水の水量が増加する。</p> <p>【成果と指標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 新規井戸 5 本が掘削され、各井戸からの揚水量により生活用水約 60 リットル/人・日 (5 ヶ村の平均) が新たに村内で得られるようになる。(井戸建設完了後に揚水量を計測)。既存井戸 10 本が修繕され、住民が必要な生活用水を村内で得られるようになる。(井戸修繕完了後に取水量を計測)。 2. 45 名を対象に水管理委員会運営講習会が実施され、深井戸の適切な維持・管理ができるようになっていく。(井戸の長期管理に関する理解度を計るテストを実施する)。 3. 60 名を対象に情報共有ワークショップ (WS) が実施され、参加者が他の村での運営方法から学び、運営管理上の課題についての解決策やより良い運営方法についてのアイデアが得られる。(WS 後に、参加者に自らが考える運営管理上の課題と解決法について聞き取りを行う)。 4. 30 名を対象に揚水ポンプ操作者トレーニングが実施され、ポンプおよび動力源の整備・保守ができるようになる。(完了後にエンジンの分解・組立てのテストを実施する)。 5. 15 ヶ村にて、村人全員を対象とした水と衛生に関するワークショップが開催され、参加者が水や石鹼の衛生的な使い方などを理解する。(完了後に、理解度を計るテストを実施する)。 <p>【期待されるインパクト】 安定的に利用できる生活用水が増加することで、遠方への水汲み作業時間が削減され、その時間を他の活動 (農作業、就学等) に使えるようになり、村の収入や就学率が向上する。また安全な井戸水の使用により、村人の衛生環境や健康状態が向上する。</p>